

一般社団法人 人文知応援フォーラム

令和4年度事業報告書

1. 概況

本フォーラムは、これからの日本で文化、芸術、人文学の研究が一層進展し、「人文知」が日本の社会の中で広く生かされるよう応援活動を展開しているところですが、令和4年度に入っても新型コロナウイルスの脅威は収まらず、社員総会、理事会をはじめとする各種会議やイベント他事業展開にも少なからぬ影響をもたらしました。

そうした中ではありますが、Web会議も併用しながら各種会合や懇談会を重ね正会員、理事、特別会員の増員により組織の拡充強化をいたしました。

そして、多くの事業が Web を併用しての開催となりました。会員例会では、馬場明子氏の講演と大倉源次郎氏との対談、および大倉氏には鼓演奏を披露いただき、分科会では人文知応援大会の課題を深堀し、応援大会の開催意義と意味を確かめることができました。さらに、5月には新規事業として青森・岩手の縄文遺跡群を訪ねる「人文知探訪プログラム」に取り組み、8月にも初の試みとして岡山県倉敷市で「人文知夏期学校」を開催、会員だけでなく誰でも参加できる公開講座を開設し、広く社会へ「人文知」に触れる機会を提供しました。

人間文化研究機構と共同開催している人文知応援大会は、第3回大会のテーマを「レジリエントな未来に向けて～人類の進化と歴史から学ぶ～」と設定し、基調講演講師に総合地球環境学研究所所長山極壽一氏を迎え、Web参加を含めて236名の参加者を集め、最後に大会宣言を採択しました。

そして、これらの活動は年3回発行のニュースレターにとりまとめ、夏期学校についても記録集を制作し、会員をはじめ関係先へ広く広報しました。さらに、第0回人文知夏期学校の記録集を制作するなど各種イベントの記録集も順次取り組むことにしました。

2. 会議開催状況

(1) 社員総会

1) 第1回定時社員総会

日 時：令和4年6月30日（木）14：00～14：20

場 所：人間文化研究機構 会議室

出席者：理事 6名（内2名はWeb会議システムによる出席）

監事 2名（Web会議システムによる出席）

決議数：総議決数 12個

出席決議数 11個（会場4名、Web2名、委任状5名）

報告事項：1. 令和3年度事業報告について

議案：第1号議案 令和3年度収支決算の承認について
（原案通り承認決定）

第2号議案 理事2名の選任について
（原案通り承認決定）

2) 第2回臨時社員総会（第3回理事会終了後に開催）

日程：令和4年9月16日（金）14：29～14：33

出席者：理事 7名（内2名はWeb会議システムによる出席）

監事 2名（Web会議システムによる出席）

決議数：総議決数 15個

出席決議数 14個（会場5名、Web2名、委任状7名）

議案：第1号議案 定款の改正について
（原案通り承認決定）

第2号議案 定款の改正について
（原案通り承認決定）

(2) 理事会

1) 第1回理事会

日時：令和4年5月31日（火）14：00～16：00

場所：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 会議室

出席者：理事 7名（内2名はWeb会議システムによる出席、
内1名は電話による出席）

監事 2名（Web会議システムによる出席）

議案：第1号議案 令和3年度事業報告並びに同収支決算の承認について
（原案通り承認決定）

第2号議案 令和4年度第1回定時社員総会の開催について
（原案通り承認決定）

第3号議案 理事候補の選任、理事の役職等について
（原案通り承認決定）

第4号議案 企画会議、第3回人文知応援大会実行委員会の構成員に
ついて
（原案通り承認決定）

第5号議案 第3回人文知応援大会の開催について
(原案通り承認決定)

2) 第2回臨時理事会

日 時：令和4年6月30日(木) 14:00~14:20

場 所：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 会議室

出席者：理 事 7名(内2名はWeb会議システムによる出席)

監 事 2名(Web会議システムによる出席)

議 案：第1号議案 正社員3名の入会について
(原案通り承認決定)

第2号議案 特別会員の入会について
(原案通り承認決定)

3) 第3回理事会

日 時：令和4年9月16日(金) 14:00~14:28

場 所：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 会議室

出席者：理 事 7名(内2名はWeb会議システムによる出席)

監 事 2名(Web会議システムによる出席)

議 案：第1号議案 定款の改正について
(原案通り承認、社員総会への上程を決定)

第2号議案 定款の改正について
(原案通り承認、社員総会への上程を決定)

第3号議案 令和4年度第2回臨時社員総会開催について
(原案通り開催を決定)

第4号議案 第2回会員例会(令和4年度第1回)の開催について
(原案通り開催を承認決定)

第5号議案 第3回人文知応援大会準備について
(原案通り開催概要を承認決定)

4) 第4回臨時理事会(書面審議)

日 時：令和5年2月21日(火)

出席者：理 事 12名(理事全員から同意書)

監 事 2名(監事全員から確認書)

議 案：第1号議案 一般社団法人人文知応援フォーラム入退会規程の一部変更
について

(原案通り承認決定)

第2号議案 一般社団法人人文知応援フォーラム就業規則並びに給与規則の制定について

(原案通り承認決定)

5) 第5回理事会

日 時：令和5年3月16日(木) 14:30～15:45

会 場：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 会議室

出席者：理 事 9名(内3名はWeb会議システムによる出席)

監 事 2名(Web会議システムによる出席)

議 案：第1号議案 令和5年度事業計画(案)、同収支予算(案)について
(原案通り承認決定)

第2号議案 業務執行理事等の職務権限規程の制定について
(原案通り承認決定)

(3) 企画会議、応援大会実行委員会

1) 第1回企画会議

日 時：令和4年5月20日(木) 14:00～16:00

場 所：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 会議室(Web会議併用)

出席者数：7名

協議事項：1. 令和3年度事業報告及び同収支決算について

(令和3年度事業報告書及び同収支決算書について説明)

2. 令和4年度第1回理事会及び第1回定時社員総会の開催について

(第1回理事会：令和4年5月31日(火)開催)

(第1回定時社員総会：令和4年6月30日(木)開催)

3. 第3回人文知応援大会の開催について

(開催日程、基調講演講師、プログラムについて協議)

2) 第2回企画会議

日 時：令和4年8月25日(木) 14:30～16:30

場 所：(一社)人文知応援フォーラム 会議室(Web会議併用)

出席者数：7名

協議事項：1. 定款一部改正について

(定款第1条に本フォーラムの英語表記を加え、定款第18条に新たに会長及び理事長を加えることについて協議)

2. 令和4年度第2回臨時社員総会の開催について
(令和4年9月16日(金)14:00~16:00 理事会と同時開催)
3. 会員例会の開催について
(令和4年度第1回プログラムについて説明)
4. 第3回「人文知応援大会概要(案)」について
(第3回人文知応援大会の日程、会場、開催形態、テーマ、基調講演講師などについて協議)
5. 第3回人文知応援大会に向けての準備について
(大会実行委員長の近藤代表理事から大会概要について説明)
6. 新次元の会員募集について
(大原代表理事から問題提起と提案があり、議論が行われた)
7. 林理事の後任について

3) 第3回企画会議・応援大会実行委員会

日 時：令和4年11月25日(金)14:00~16:00

場 所：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 会議室 (Web 会議併用)

出席者数：8名

協議事項：1. 入退会規程の一部変更について

2. 就業規則(案)並びに給与規則(案)の制定について

3. 第3回人文知応援大会の概要(案)について

4. その他

4) 第4回企画会議・応援大会実行委員会合同会議

日 時：令和5年1月13日(金)14:00~16:00

場 所：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 会議室 (Web 会議併用)

出席者数：8名

協議事項：1. 第3回人文知応援大会について

2. その他

5) 第5回企画会議・応援大会実行委員会合同会議

日 時：令和5年2月3日(金)14:00~16:00

場 所：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 会議室 (Web 会議併用)

出席者数：9名

協議事項：1. 第3回人文知応援大会について

2. その他

6) 第6回企画会議

日 時：令和5年3月3日（金）14：00～16：00

場 所：Zoom 会議

出席者数：7名

協議事項：1. 令和5年度事業計画（案）、収支予算（案）について

2. 業務執行理事等の職務権限規程の制定について

3. その他

(4) その他会議等

理事懇談会・理事懇親会

日 時：令和4年12月20日（金）18：00～21：00

場 所：アークヒルズクラブ（東京都港区赤坂一丁目12-32）

出席者数：8名

懇談事項：1. 入退会規程一部変更について

2. 就業規則並びに給与規則の制定について

3. 事業活動

(1) 第3回人文知応援大会

1) 概 要

日 時：令和5年2月25日（土）13：30～17：00

会 場：一橋講堂（東京都千代田区）

主 催：一般社団法人人文知応援フォーラム

大学共同利用機関法人人間文化研究機構

参加者数：236名（内会場56名、Web180名）

テ ー マ：「レジリエントな未来に向けて」

～人類の進化と歴史から学ぶ～

2) 内 容

総合司会：草野満代（人文知応援フォーラム理事）

挨拶・趣旨説明：大原謙一郎（人文知応援フォーラム代表理事）

挨 拶：木部暢子（人間文化研究機構機構長）

基調講演：テーマ 「人類はどこで間違えたのか？～進化と歴史から学ぶ～」

講 師 山極壽一氏（総合地球環境学研究所所長）

パネル討論：コーディネーター 渡辺美代子（日本大学常務理事、特定非営利活動
法人ウッドデッキ代表理事）

パネリスト 伊藤公平（慶應義塾長）
河瀬直美（映画作家）
中島さち子（音楽家、数学研究者、STEAM 教育者）
山極壽一（総合地球環境学研究所所長）

閉会挨拶 近藤誠一（元文化庁長官・人文知応援フォーラム
代表理事・人文知応援大会実行委員長）

3) 大会宣言

人類はこの地球に生を受けて以来さまざまな制約や試練に遭遇したが、そのたびに知性とテクノロジーの力でそれらを乗り越えてきた。農耕・牧畜革命、産業・科学技術革命そして情報革命はその足跡でもある。

しかしわれわれがいま直面している危機は、自然への過度の介入や社会の分断などかつてなく複雑かつ深刻で抜本的解決が困難なものである。そしてそれらは過去の危機を乗り越える過程で「先送り」してきた諸問題—際限なき権力や富への欲望、民族や宗教の対立—の集積でもあることを見逃してはならない。

明るい未来をつくるためには、これらの問題をこれ以上安易に先送りせず、今真剣にとり組まねばならない。そのためには言語化された専門知や理念、高度なテクノロジーのみに依存するだけでは十分でない。過去に蓄積してきた「危機を生き抜く知」（レジリエンス）から改めて学び直さねばならない。それは人類がかつて共食などを通して身体の共鳴による共感力を高め、社会性を拡大することによって、厳しい環境における生存を確保してきた実績である。

欲望を適切に制御し、自然との親和性や社会の連帯を強化する上で鍵となるのがこの共感力である。それを育むのは非認知的能力であり、音楽など文化芸術の力によってそれを高める仕組みを社会に実装していくことに努めるべきである。

これはまさしく「人間とは何か」という問いを発し続けることで「人文知」を社会に広げるといふ、われわれのフォーラムの目的達成の重要な柱なのである。

4) メディア懇談会

第1回メディア懇談会

日 時：令和5年2月3日（金）16：30～17：30

会 場：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 会議室

参加者：メディア関係者5名

フォーラム理事3名

(2) 会員例会

1) 10月度会員例会

日 時：令和4年10月21日（金）17：30～21：00

会 場：学士会館（東京都千代田区・Webとの併用）

参加者：40名

内 容 記念講演：「日本の鬼」 馬場あき子氏

対談：馬場あき子氏、大倉源次郎氏

会務報告：「人文知応援フォーラムの活動紹介」大原謙一郎

*例会終了後、懇親会を開催

(3) 分科会

1) 第1回分科会

日 時：令和4年4月23日（土）16：00～20：00

会 場：学士会館（東京都千代田区・Webとの併用）

参加者：20名（会場 14名、Web 6名）

内 容：グループごとに下記4テーマの中から希望のテーマについて討論を行い、その後、全体での意見交換を行った。

- ・人文知と暴力・戦争・支配（人文知のもつメリット／デメリット）
- ・自然科学(基礎科学)や人文学の意義や価値の認知をどう作っていくか
- ・メタバースと人文知
- ・「役に立つ」から「意味がある」への価値変換に果たす人文知の役割

*分科会終了後、懇親会を開催

2) 第2回分科会

日 時：令和5年2月9日（木）18：00～22：00

会 場：学士会館（東京都千代田区・Webとの併用）

参加者：9名

内 容：応援大会における基調講演のテーマである「人類はどこで間違えたのか？」に関する書籍について、参加者各自が読書した内容の発表を行い、続いて全体討論を行った。

*例会終了後、懇親会を開催

(4) 人文知探訪プログラム

1) 探訪プログラム

日 時：令和4年5月13日（金）～15日（日）

訪問先：青森・岩手の縄文遺跡（三内丸山遺跡、御所野遺跡ほか）

参加者：13名

内 容：青森・岩手の縄文遺跡から日本人のアイデンティティを探るツアー

2) 倉敷探訪プログラム

日 時：令和5年2月12日（日）13時～16時

訪問先：岡山城石垣周辺、岡山城天守閣、林原美術館

参加者：17名

内 容：岡山の文化・歴史を探訪し、先人たちの想いに触れる

(5) 人文知夏期学校

1) 第0回人文知夏期学校

日 時：令和4年8月27日（土）～28日（日）

会 場：倉敷公民館・大原本邸

参加者：150名（公開講座）22名（夏期学校）

内 容：第1限 講演（公開講座）講師：原田 マハ氏

「人文知は美術館にある—美術館のある街の活動を未来へ」

第2限 原田マハ ゼミナール&鼎談

第3限 棟方志功の鯉の襖絵を見ながらのお茶会

(6) 広報活動

1) ニュースレターの発行

発 行：令和4年5月（第2号）

概 要：A4判4ページ、カラー印刷、500部発行

内 容：巻頭エッセイ（榊原定征「人文知への期待」）

人文知の本棚（御厨 貴『社会百面相』全二巻）

人文知NOW（川瀬 慈「学術の新たなプラットフォームづくり」）

フォーラムレポート（第2回人文知応援大会開催）

事務局だより

発 行：令和4年11月（第3号）

概 要：A4判8ページ、カラー印刷、3,000部発行

内 容：巻頭エッセイ（大原謙一郎「人文知は心の佇まい」）

New TOPICS（高田和徳「御所野遺跡」）

人文知の本棚（松元 崇『石橋湛山評論集』）

（佐々木幹郎 ヒュー・ケナー『機械という名の詩神』）

人文知 NOW（柏野和佳子『言葉の使い方が気になった時には「コーパス』』

フォーラムレポート（令和4年度第1回分科会）

（人文知探訪プログラム in 青森・岩手）

（第0回人文知夏期学校開催）

会員の声

事務局だより

2) ホームページの管理、運用

3) 各種ネットへの法人名によるアカウント開設

ツイッター：@jinbunchi_forum

インスタグラム：jinbunchi_forum

フェイスブック：jinbunchi_forum

4) 記録集編纂事業について

記録集の制作

・第0回人文知夏期学校記録集

4. 組織の概要

(1) 会員

1) 正会員：15名

2) 賛助会員：個人 124名（147口） 団体 13件（34口）

3) 特別会員：5名

(2) 役員（敬称略・五十音順）

1) 代表理事

大原 謙一郎（会長） 公益財団法人大原美術館名誉館長

近藤 誠一（理事長） 近藤文化・外交研究所代表

2) 理事

大林 剛郎 株式会社大林組代表取締役会長

奥 正之 株式会社三井住友フィナンシャルグループ名誉顧問

木部暢子	大学共同利用機関法人人間文化研究機構機構長
草野満代	フリーアナウンサー
榊原定征	日本経済団体連合会名誉会長、東レ株式会社社友、 関西電力株式会社取締役会長
高階秀爾	東京大学名誉教授、日本藝術院長
長谷山彰	国立大学法人北海道国立大学機構理事長
福岡伸一	青山学院大学教授、米国ロックフェラー大学客員研究者
松元崇	国家公務員共済組合連合会理事長
虫明優	株式会社三楽代表取締役社長

3) 監事

鴨井省三	株式会社三楽監査役
前川晶	弁護士

4) 顧問

加藤丈夫	前国立公文書館館長（元富士電機会長）
高梨誠三郎	高梨学術奨励基金理事長
平川南	国立歴史民俗博物館名誉教授

(3) その他

1) 企画会議（事務局を除く）

大原謙一郎	公益財団法人大原美術館名誉館長
近藤誠一	近藤文化・外交研究所代表
木部暢子	大学共同利用機関法人人間文化研究機構機構長
若尾政希	人間文化研究機構理事

2) 人文知応援大会実行委員会（事務局を除く）

実行委員長	近藤誠一	人文知応援フォーラム代表理事
副実行委員長	若尾政希	人間文化研究機構理事

以上